

かいぞう

地区広報



秋 晴れに 躍る — 山手中学校体育祭 —

自分の記録と

チームワークを

味覚の秋、スポーツの秋……
使い古された言葉ですが、さわやかな秋風が肌に感じられる頃になると、何故か新鮮にこの言葉が甦ってきます。

ここ山手中学校でも体育祭が催されました。個人競技では、自己の記録の更新と、団体競技ではチームワークを目指して、普段鍛えた力を出し切った、すがすがしい姿が見られました。

みんなの期待を

受けて……

近年、中学生の非行が新聞にぎわっています。山手からは、非行に走る生徒を出すまいと先生方も懸念です。また、父母や地域の間でも、そうした気運が高まってきております。

秋の澄みきった空。何ものにも染らず、どこまでも青く……そんな秋空の様な清しい中学生であって欲しい、との願いが込められた体育祭に感じられました。

海蔵地区社会福祉協議会

新会長に山梨喜一さん

〓 児島さん名誉会長に 〓

五十六年度地区社協総会において、役員の改選がなされ、児島前会長が名誉会長に、山梨前副会長が新しく会長に選任されました。

児島さんについては、長年にわたり海蔵地区の福祉活動にご尽力され、大きな功績を残されました。ここに敬意を表するとともに、健康にご留意され、今後とも、ご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

このたび、会長という大役をお引き受け致すことになりました。海蔵地区社協の長い歴史の

上立って、これを継承・発展させる方向で努力致す所存でございます。



主張

最近の中学生の校内暴力や家庭内暴力には、眼に余るものがあります。しかしその非行は、子供が中学生になって突然現われるものではなく、自我が形成される

人間に育てています。更に子供の教育に関して、父親が母親に任せっきりの状態無関心が、それを助長しているとも言われています。いわゆる放任と過保護の両極端の偏りの中で、子供は迷い歪められています。家庭における父親・母親の役割、正しい親子関係のあり方など、今、改めて考え直す必要があるのではないのでしょうか。

正しい幼児期の子育てを！
放任と過保護に歪む子どもたち

今更ながら子育ての難しさを痛感させられますが、子供たちにとって、保護者である私たちが親が、今こそ自信を持って、それに当らなければ真の解決にならないだろうと思います。最後に、未来を担う子供たちが、心身ともに明るく健やかに育つためにも、家庭での教育と相まって、学校教育・社会教育の三者が連携を強める必要があります。関係各位のご協力をお願いします。

海蔵保育園保護者会
会長 片岡博一



（社会見学） お城の前で楽しい昼食

育成会活動について

海蔵地区子育て連会長 小島 弘

海蔵地区子供会育成者連絡協議会も、今年で二十年を迎えました。この立派な伝統と歴史を今日迄支えてくれましたのは、先輩役員の方々及び、各町育成委員の皆様のご協力と感謝致して居ります。

ご承知の方もあろうかと思いますが、子育てが本来の使命と致しますのは、夏休み期間中の非行防止、又子供達の人造りに重点を置いて活動を進めております。

毎年行なわれる行事に就いては、四日市市が行なう子供まつりに始まり、海蔵地区では社会見学、キャンプ、球技大会、オリエンテーリングと、川島地区で行なわれる市子連のオリエン

テリングで一年の行事の締めくくりを致します。当市において海蔵子育て連を含めて三十五団体があつて、私共海蔵とほぼ同じ内容の活動方針で運営されておりますが、子供達の参加数ほどの行事でも海蔵の方が、かなり多い様です。又今年からは、中学生の球技大会が始まり、行事内容も一段と充実して来た訳ですが、反面、財政面での悩みも増加した次第です。

先頃実施致しました社会見学は、京都伏見桃山城でしたが、各町育成委員の皆様のご努力によって、参加者も八三五名にもなり大盛会で、好天にも恵まれた事は、関係者にとつては、

最近の中学生の校内暴力や家庭内暴力には、眼に余るものがあります。しかしその非行は、子供が中学生になって突然現われるものではなく、自我が形成される就学前後の六才までに、その素地ができていると言われています。それだけに、保育園や幼稚園における幼児教育の重要性はますます強まり、同時に家庭での望ましい親子関係の在り方が厳しく問われているのではないかと感じています。

楽しいバス旅行



肩の重荷がおりた心境です。昨今は以前、津の方で起きたボランティア活動中の事故以来、子供達の怪我には大変神経質になっており、子供達は言うに及ばずお世話をし、て頂いている育成委員さんにも

ボランティア保険に加入して貰っています。今年もまだまだ残された行事が沢山あります。各町育成者の皆様におかれましても、今後何かと迷惑をかけると思います。役員一同微力ながら子育ての基本理念に従い、子供達のより良い成長を願って活動を進めて行きたいと念願致しております。どうか深い御理解と、ご協力をお願い申し上げます。

山手中学校の環境部員のみさんが、夏休みに入ってから生徒の非行防止のため、また環境浄化のために、校区内の巡回パトロールを実施して下さいました。又、部長さんよりポルノ雑誌の自販機の撤去運動を進めているので協力を願いますと、話

地区補導にて思うこと

補導部長 野崎 廣

五・六年程前、地区補導委員でもこの運動を行ない、私も参加しましたが、余りにも青少年が安易に非行に走れる社会になってきているという痛切な感じました。例えば、今のスーパーの販売方法も、青少年がたやすく万引の出来るシステムになっている事や、駅前の自転車置場に放置の自転車。盗もうと思えば子供でも簡単にできるし、先程申し上げたポルノ雑誌にしてもそうした問題があります。大人には「読む権利」があり営業の自由の原則もある。加えて二十四時間いつでも買えるから、青少年の健全育成という観点からは好ましくない。私たちのポルノ雑誌自販機撤去運動を進めている時の例として、設置者との話し合いの中で「青少年の健全育成のために自販機の撤去にご協力下さい」と頼みましたら、ある店主さんは雑誌の中身を見て驚き、即刻撤去にご協力下さいましたが、別の店では、月々五千円(当時)の場所代があるから、それをあんな達で保障してくれるなら、との返事もありました。

ある家裁の調査官のお話には「非行少年が増えている背景には、子どもに対する親の過保護家庭におけるしつけの欠如といったものが大きく影響している。子どもが本来自分でやるべきことまで親が肩代りしている。これはしつけでなく、甘やかしてある。だから子どももわがままになり、末には親の言う事、先生の言う事も聞かなくなる。学校にも、家庭にも、地域にも問題がある。」

本年になって、市では地域ぐるみの青少年健全育成運動を呼びかけています。当海蔵地区でも六月より野田・清水町、松ヶ丘、三ツ谷町と、各種団体が共同で町別懇談会を開催して参りました。他町においても順次開催する予定をしていますが、これを機会に、地域で子どもを育成するという意識に立てば、非行化防止も大きく前進するのではないのでしょうか。皆様方のご協力をお願いします。

補導部長 野崎 広

の非行防止には、私たち補導委員やP.T.Aの役員だけではなく一般地区住民の方々の協力が必要です。

事につきましては、(1)家庭教育

(2)社会教育、(3)学校教育、の三つに大別出来るのではなからうかと考えていますが、この懇談会に出席して特に感じたことは、

(1)の家庭教育につきましては、私として反省するところ多でありました。が特に今まで他の御子弟は、自分の子供の比較対象

た自分の子供が良くなるなら町内・地域・全市そして日本の青少年がより良くなるならという考えを一層深く致しました。(2)の社会教育につきましては、少年に限って見ますと、各種社会教育のグループ活動は大変活発で、奉仕をされている方々には心から敬意を表しますが、これらの網の目をホローする、一

成は、地域成人の責務である、と再認識致した次第です。(3)の学校教育につきましては、最近生徒の非行問題に關し、よく先生方の指導力の不足、生徒の現況への対応の不足、生徒の現況への対応の不足等々が論議され、またマスコミを賑わすような問題も起りますが、私は大部分、大多数の先生方は、これらの問題について無

三ツ谷町

青少年問題懇談会に参加して

嶋津義正

にそれを再確認致しました。

「子供の教育」よく聞く言葉です。「子供の訓育」最近あまり耳にしなくなった言葉です。

教え諭す……。私にとりまして、考えさせられること多い懇談会でありました。

として観るところ大でありましたが、自分の子供は、他の子供の中の一員であり、善悪いづれの意味でも、その影響力の中にあり、また他の子供にもその影響力を及ぼしているという事です。全市・全国的にはもちろん、先ず町内、地域の青少年が健全に育たなければ、自分の子供もその例外ではあり得ないし、ま

番大切な地域社会としての教育機能が欠如、というより皆無、というのが現状ではなからうかと考えられます。特に青少年の非行化に対する地域住民としての監視の目、地域としての抑止力が大切であり、そのためにも、地域成人としてモラルの向上に心がけなければと考えます。地域青少年健全育

現在の青少年を取り巻く諸問題は、特にその非行化の低年齢化を含め、好むと好まざるに拘らず、私達の地区・町内そして家庭にも押し寄せているのが実情ではないでしょうか。

その様な中で、私の住む三ツ谷町でも、各団体役員及び父兄による青少年問題懇談会がもたれました。

席上、小中学校の先生、補導委員の方ら現場に携っていられる方々から、青少年の非行につ

いて具体的な実例、数字をあげての赤裸々な現状説明がなされました。この地内の青少年についても、市内、県内、全国的に同一であり、決して例外ではないとの事で、参加者一同大変な驚きもし、また、地域、町内そして自分自身の問題としてとらえられた様です。

私は常々、人間の教育という

③

本年も市長・教育長と海蔵地区各団体代表者との「地区懇談会」が九月四日に開かれました。従来の土本・下水等の要望会形式とは趣を異にして、懇談会本来の在り方に近い形で行なわれました。テーマの「青少年問題」について多様な角度から論議。主張がなされ、大変有意義な会合となりました。ここに当日の発言要旨をご報告申し上げます。地域ぐるみで青少年の非行化防止に取り組む一助になれば幸いです。



山手中学校生徒の現状

山手中PTA会長 熊本富郎

現代の非行は急激な社会の変貌や学歴偏重、物質万能主義などの風潮の中で培われてきた。物の豊かさが子どもをだめにしたのである。これは何と云っても、大人社会の責任であろう。山手中では、残念ながら生徒の行動は良好であるとはいえない。例えば、公共物の破損や陰



湿な弱い者いじめ、あるいはまた正常な授業が妨げられる場合など、本来の生き生きとした中学生像とはかけ離れた、歪んだ姿がそこにはある。何とかしなければならぬ。教師と生徒に信頼関係が出来ていないのではないかと。教師に共通して言えることは、サラリーマン化した先生が多くなっていること。人間味ある、暖か味のある、厳しくもやさしい先生像を父母は期待しているのである。教師は教育のプロであって欲しいのです。

家庭教育の充実を

婦人会長 藤田すゞ子



昔は、女生徒にカエルで驚かせる……という様なイタズラはあつたけれど、何と言うか、許容範囲にあつた。今日では、些細なこと、例えば他人に笑われたというだけで刺殺す……。イタズラと犯罪の区別がつけられないものだろうか。家庭、学校でもくり返し教えられないものか。家庭教育の重要性を痛感する次第です。私事で恐縮ですが、母親が常々私に教えたことを今でも思い出す。それは、他人に迷惑をかけるな、他人に尊敬される

人間に、健康に留意し小さなことにも感謝せよ、といったことでした。自分の思い通りにならないと命をそまつにする子供たちが多くなつてきています。「子供は親の背を見て育つ」という諺どおり、大人たち、特に主婦であり、私たちが、子どもの将来のために、良い環境づくり、正しい家庭教育に向けて努力しなければなりません。当婦人会としても、数年前より各町ブロック毎に、青少年問題やゴミ問題に取り組む、映画会や話し合いの場を設けて参りました。いつも参加者は限られてくるこの問題はあるものの、今後ともこの問題に対し、正面から推し進めて参りたいと考えております。

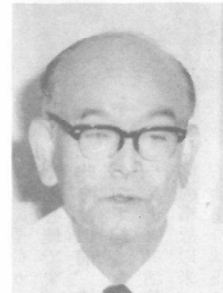


内を抑えず、警察との連絡、協力を密にして対処して欲しい。

二、各種団体の連繫と調整を地区内には各種団体がそれぞれ活動しているが、地域をよくする、青少年をよくするという観点から、早急に互いに連絡と調整をする必要がある。三、PTA組織について役員が一年交代になっているが、二・三年任期にはならないものか。一貫したPTA活動が期待できるのだが……。

海蔵地区懇談会

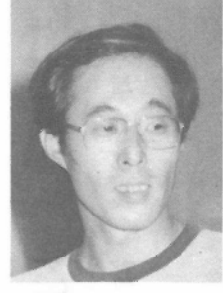
熱心に議論さる



今日の非行は戦後第三のピークと言われている。これは四日市市のみ問題でなく、全国的傾向である。昨年度北警察の青少年の補導状況を見ると、海蔵地区は富田と並んでトップクラスにある。非行の原因は何と言っても家庭にあると考えられるが、学校地域ともに、それぞれ厳しい条件があろう。特に子どもたちの校外での行動は、私たち地域の課題として、皆んなで取り組んでいく必要がある。自治会は、地域の中核組織として努力したいと思う。若干の提案をしたい。一、学校と警察との協力を非行青少年の行動には、学校

幼児期の家庭教育

保育園保護者会長 片岡博一



(注)片岡さんの発言内容については、前のページの「主張」欄に沿ったものでしたから、紙面の都合上及び重複を避けるため割愛させていただきます。「主張」欄をご覧ください。

市長・教育長を囲む

『青少年問題』について

市からのコメント

皆様方が、それぞれの立場で熱心に考え、取り組んでいらつしやることに感謝いたします。只今のご提言に対し、若干ご発言申し上げます。海蔵地区が、山手中が一番悪いかと言いますと、必ずしもそうではありません。また、非行



加藤市長

対策にしても、第一、第二のピーク時代と同じことをしてはだめで、時代の状況に応じた対処の仕方を考えるべきであると思われまふ。教師の問題に関して、二、三触れてみたいと思います。一、四日市に小・中合わせて、千五百名の教員がいるが、毎年百五十名程の新採教員があり、三年未満が殆どを占めているのが実情である。経験年数の浅い教員即ち悪いということでは決してありませんが……。地元出身の先生が少ないと言えま

学校教育への期待

海蔵小PTA会長 石崎英治



誰もが「何故、今の子どもはこんなことをするのか?」という疑問を持っている。理解に苦しむ行動が多過ぎる。青少年問題を学校教育のみしぼって考えてみたい。非行少年のほとんどが、①授業についてゆけない ②学校が面白くない ③先生が気に入らない というパターンをたどる。

育成会活動からみた子どもたち

子育連会長 小島弘



いわゆる「おちこぼれ」生徒が非行に走り易いことを裏付けている。中学生でも、かけ算の九九が

現代の子どもの状況については、只今皆様方がいろいろ述べられました。私も同様の感を抱いております。が、重複を避けるため、校外での育成会活動からみた感想を述べるに止めたいと思ひます。子ども会活動への参加状態は大変良い。これは一重に地域の皆様のご協力の賜と感謝して見えて、今の子どもたちは自

地区社協の役割

地区社協副会長 河元治



であり、それには先生方の一層の努力をお願いするものです。先程も、サラリーマン化した先生が多いのご発言、全く同感です。勉強がわかり、学校が楽しい……、そんな学校教育を期待いたします。

非行少年は、自分の行為に反省や罪悪感を持たず、価値観や判断の基準を喪失している。これは、今日の大人社会の道徳的精神的退廃の反映である感じがしてならない。テレビ、雑誌のマス・メディアが、反社会的行為を茶の間まで送り込む。夜遅くまでポルノ的番組を、これでもか、これでもかと放映し続ける。民放の制作態度までメスを入れる必要がある。

ご発言のとおり、人間としての基礎ができる大変重要な時期にあり、市(教委)としても、三才児の親へのテキスト等を作成



館教育長

し、健全な子育てを促したい。子ども会への注文になります。が、高学年が低学年を指導し、自主性を育てる子ども会、子ども自身でつくる子ども会活動も期待したいと思ひます。最後に、皆んなで、地域ぐるみで……というご発言のとおり何とか皆様方のお力で、非行化防止に努力される様、願つて止みません。

婦人会による炊き出し訓練



地震への備えは大丈夫？

……防災訓練行なわれる

九月一日は防災の日。既に皆様方よくご存知の様に、関東大震災に因んで定められたものです。

近いうちに東海沖大地震が必ず起こると言われています。炭火を使っていた時代ですら、東京ではあの様な一大災害をもたらしたわけですから、ガスや灯油、あるいはガソリン(車)など、日常何気なく使っている現在では、マグニチュード8程度の地震が発生すれば、恐らく想

像を越える事態になるでしょう。その日のために、普段から心の準備が必要です。

今年の防災の日には、大地震が発生したとの想定のもとに、海蔵地区でも緊急連絡、避難、初期消火、救護、炊き出しなどの訓練が実施されました。

自治会や消防分団、婦人会、さらには一般の方々の参加によって、真剣な訓練がくり広げられました。

お母さんご存知ですか？

⇒ ⇒ ⇒ 塾通いがゲーム通い ⇒ ⇒ ⇒



三角布による応急手当訓練

「お母さん、ご存知ですか」学習塾へ行くと言って家を出たのに、塾には行かず「ゲームコーナー」で一息懸命「ゲーム」の学習？

補導員が声をかけてもそしらぬ顔……、強く注意すると、しぶしぶ返事がくる。でも手の方は休まずに続けている。〇〇小学校〇年〇組〇山〇男、補導員はやさしく注意をして帰す。翌日学校に連絡すると、学年氏名に該当児童はなし。うそを平気で言う子どもが随分多くなった。

「あなたの子どもさんはいかが？」
(だまされた補導員)

敬老の日



七十才以上六一八名

九月十五日現在、海蔵地区で七十才以上の方は六一八名いらっしゃいます。昨年同日では、五八五名でしたから、三三名も増えていることとなります。急速に高齢化社会になりつつある日本、この海蔵地区の数を見ただけでもうなづける訳です。

寝たきり、老人ボケ、自殺等々、高齢化社会というイメージには、暗い影がついてまわります。しかし、反面では、不十分なが年金、医療、各種施設など、老人福祉の対策は昔と比べると、随分進歩したと言えるでしょう。

が、高令者が充実した日々を送るには、モノとカネだけではなさそうです。つまり、親子孫、そして隣近所、さらには地域社会が手をとり合い、心と心が通い合ってこそ、豊かな一日を過ごすことが出来るのです。

記念品を贈る

敬老行事として、各地で多彩な催しがされましたが、当地区では、海蔵小、大谷台小の生徒の皆さんの手紙を添えて、記念品と紅白の饅頭を贈り、長寿をお祝いしました。

大谷台校区(みゆきヶ丘一・二丁目など)

大運動会開かれる



親と子がいっしょに大玉ころがし



玉入れ風景



去る五月二十四日、大谷台小学校運動場にて取り行なわれた大谷台校区大運動会は、午後から雨となるあいにくの天候でしたが、多勢の参加のもと、観客と出場者が一体となつて、楽しい一日でした。

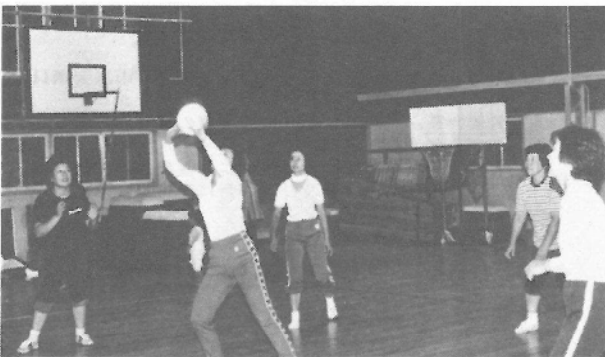
この運動会も今年で四回目を迎え、回を重ねるごとに「住民の親睦と融和」の輪が広がってゆきます。三重・大矢知・海蔵の三行政区にまたがっている大谷台校区……。住みよい街をめざしての地域づくりは着実に前進していると云えるでしょう。

部落差別の解消を

「基本的人権を尊重し、部落差別をなくして、明るい地域社会を作りましょう」
今年六月より、全地区市民センターにこのパネルが立てられました。
同和対策特別措置法ができて十二年。この間、同和地区に対する種々の改善がなされてきましたが、しかし、部落への偏見差別は厳として存在しているのが実情です。それは、就職・結婚に特に顕著に表われています。
私たちは「海蔵地区には関係ない」と言うのではなく、憲法に保障されている基本的人権が侵されているという現実を目を向けたいと思います。
私たちの生活の中で起っているいろんな差別を見逃すことなく、一つ一つ解消してゆく必要があります。そのことが、部落差別をなくしてゆくことにつながるのではないのでしょうか。

地域スポーツ盛ん

皆さんもご参加を——



日曜や平日の夜間には、小中学校の校庭や体育館から、賑やかな声が聞えてきます。地域の成人、婦人のスポーツです。ソフトボール、婦人バレーボール、テニスなどに汗を流し、楽しいひと時を過ごします。
ストレス解消、健康維持、仲間づくりなどを兼ね備えたスポーツ。あなたも参加しませんか。
写真は家庭婦人バレーボールチーム「海蔵」の練習風景

海蔵地区社会福祉協議会総会だより

昭和55年度決算書

収 入 の 部				
科 目	予算額	決算額	増 減	内 訳
繰越金	847,997	847,997	0	
善意寄附金	800,000	733,388	△ 66,612	善意の袋 459,304 法個人 274,084
助成金	110,000	109,300	△ 700	連合自治会 72,000 市社協 37,300
補助金	900,855	962,350	61,495	市より敬老補助 292,500 共同募金 619,850 ほか
更正貸付金	240,000	240,000	0	母子福祉会貸付金返納
敬老行事寄付金	168,600	175,500	6,900	各町自治会より 300円×585人
雑収入	150,000	132,500	△ 17,500	預金利子ほか
合 計	3,217,452	3,201,035	△ 16,417	

支 出 の 部				
科 目	予算額	決算額	増 減	内 訳
会議費	8,000	4,800	△ 3,200	会議諸費
事務費	10,000	3,335	△ 6,665	原稿用紙ほか
印刷費	100,000	129,440	29,440	地区広報、胃検診 ほか印刷
備品	5,000	0	△ 5,000	
助成	30,000	20,000	△ 10,000	大谷台校区運動会
補助金	182,500	179,000	△ 3,500	修学旅行補助 中学校 4,000×6名 小学校 2,500×8名
協力費	60,000	60,000	0	青少年問題協議会 35,000 母子福祉会 30,000 海蔵文庫 40,000 老人会 30,000 婦人会協力費 30,000 育成会 30,000
分担金及会費	75,000	60,000	△ 15,000	社明運動
渉外費	160,000	125,000	△ 35,000	慶弔費・市連結員の謝礼、その他渉外
啓蒙費	70,000	44,720	△ 25,280	福祉展 34,720 ソフト大会 10,000
福祉費	1,344,000	1,334,240	△ 9,760	心配事相談諸費 35,000×12ヶ月 敬老行事 595,240 老人と子どものついで 73,500 胃ガン検診 35,500 独居老人年末見舞金 2,000×26名 若年母子 2,000×45 準要保護 2,000×34
更正貸付金	240,000	240,000	0	母子福祉会貸出金
委託料	130,000	130,000	0	留守家庭児童会委託料
雑費	10,000	3,890	△ 6,110	リボン、ネジ等
予備費	792,952	0	△ 792,952	
合 計	3,217,452	2,334,425	△ 883,027	

差引残高 866,610円は次年度へ繰越す

上記のとおり報告いたします。

昭和56年3月31日 会長 児島清夫 ㊟

監査の結果、正確であることを証明する。

昭和56年3月31日 監事 平野博 ㊟

真弓英子 ㊟

昭和55年度 善意の寄付者芳名 (順不同)

氏 名	金 額	氏 名	金 額
財団法人陶和福祉会	35,000	平 野 昭 夫	13,950
地区民生委員会	78,000	水 谷 幹 男	13,950
ユニー中京本部	25,158	東 海 出 版	5,000
善意の袋	459,304	富 永 正 済	15,000
地区婦人会	15,000	館 惣 志	5,000
婦人会理事一同	11,000	三 ッ 谷 町 篤 志	12,000
市社会福祉協議会	10,000	四 日 市 市	3,000
野田二丁目自治会	2,990	万 古 組 合	3,000
第三相互銀行	5,000	善 意 の 箱	4,260
百五銀行	5,000	(ユニー・北信)	(記念品)
日研陶器従業員一同	11,776	合 計	733,388

編集委員

加藤 大伊藤 野
藤森 藤田 崎
美代子 愛五三
子郎 男 廣

毎年夏に発行して参りました地区広報も、今回は遅れて秋風の頃となつてしまいました。青少年の非行化防止が叫ばれる時、広報でも特に重点的に扱うことに致しました。皆様方のご意見、ご批判を賜りたく存じます。

編集後記

ありがとうございました。

総会にて承認さる

(決算・予算・事業報告等)

去る6月12日、地区社協の総会(理事会)が開催され、予算、決算、事業報告、規約改正、役員の変更などが討議され、承認されました。その一部を規約(附則)に基づいて、次のとおりご報告いたします。

新役員体制のもとで、海蔵地区の福祉活動をより充実させるよう努力して参りたいと思いますので、地域住民の皆様の積極的なご参加と、ご理解、ご協力をお願い申し上げる次第です。

昭和56年度事業計画

月	事業名	事業内容
5	役員会	総会についての役員会
5	成人健康診査	市と共催 センターにて
6	総会	議事 1) 55年度事業報告、決算報告 2) 56年度事業計画案、予算案 3) 56年度役員選出 4) 規約改正
7	胃ガン検診	於センター(60名定員)
7	善意の袋	各戸配布(自治会扱い)
7	広報発行	No.24号
7	育児相談	於センター
8	役員会	敬老行事のとり組みについて
9	敬老行事	記念品を配布して長寿を祝う
10	共同募金	1) 期日 10月1日～末日 2) 主体 民生委員会・自治会
10	体力づくり表発行	家庭でできる体力づくりのパフレット(表)作成・配布
10	ソフトボール大会	地区対抗親善ソフトボール大会
12	役員会	1) 才末慰問について 2) 福祉作品展 ほか
12	才末慰問	独居老人・若年母子・準要保護家庭
1	福祉作品展	児童・生徒による福祉作品展
2	広報発行	No.25号
3	ソフトボール大会	地区対抗親善ソフトボール大会
3	乳児検診	市と共催(専門医による)

規約改正

現行条文中下線部分を付け加える。

(名誉会長、顧問及び参与)

- 第18条 1. 本会に名誉会長を1名、顧問及び参与(市議会議員、校長、市職員等)を若干名おくことができる。
名誉会長、顧問及び参与は理事会の推せんにより会長が委嘱する。
2. 名誉会長及び顧問は主要事項につき会長の諮問に依ずる。参与は役員会及び理事会に出席して意見をのべることができる。

附 則

この規約は昭和56年6月12日 一部改正 同日施行

「善意の袋」御礼

本年も、例年通り、「善意の袋」を自治会を通じて皆様にお願ひ申し上げたところ、多勢のご賛同を得ることが出来ました。お蔭で、総計四六七、〇九二円に達しましたので、ここにご報告申し上げますとともに、御礼を申し上げます。尚、この「袋」の寄付金は、社協の収入のうち、大きな財源となつており、昨年度会計報告を見て戴ければよくわかります様に、地域福祉活動の為に有効に使用させてもらっております。本年度も、一層この主旨を貫く所存でございますので、何卒ご了承の程、お願い申し上げます。ありがとうございました。

◎どの子にも愛を希望をしあわせを